

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(みちびき・はぐくみ)

「スペイン語圏からの在日児童のための副教材『日本の童話・スペイン語版』制作・無償配布」事業

南米からの在日児童の母語保持と日本語学習のためにバイリンガル副教材を制作・配布して教育現場をサポート

言葉とその多様性に関心のある市民や専門家が集まり文化活動を行っている「NPO法人地球ことば村・世界言語博物館」。外国にルーツを持つ子どもたちの母語と日本語の学習に役立ててもらおうと、日本語と外国語のバイリンガル絵本『日本の童話』を制作し、全国の学校や国際交流団体などに無料配布している。



日本語と外国語のバイリンガル絵本『日本の童話』



バイリンガル絵本では、左ページに分かち書きをした日本語、右ページにスペイン語の対訳を掲載している。

外国人労働者の子どもが抱える母語保持と日本語習得の問題

「NPO法人地球ことば村・世界言語博物館」では、在日外国人児童の母語保持と日本語学習の副教材として、2013年にAJOSCの助成を受け在日ブラジル人児童に向けて日本語・ポルトガル語対訳版を、続いてクラウドファンディングを活用して英語版を、そして昨年度、再びAJOSCの助成を受けスペイン語版を制作した。先に制作・配布したポルトガル語版の反響は大きく、ブラジル人児童の指導に苦慮していた教育現場から大変役に立ったという声を受け、ブラジル以外の南米諸国の主要言語であるスペイン語版の制作に着手したという。1990年の入国管理法の改正以降、南米から来日する外国人労働者は増え続けており、ブラジルの約10万人、ペルーの約2.6万人

を含む約18万人が在住しているといわれる(2018年現在厚生労働省)。

「ニューカマーと呼ばれ、中国や韓国のように日本国内に先住のコミュニティを持たない南米からの労働者にとって、子どもの教育は大変難しい問題で、彼らが通う学校にポルトガル語やスペイン語の教材はほとんどないのが実状です。そのため、日本語の授業についていけずにドロップアウトしてしまったり、逆に日本語が達者になるにつれ母語を忘れて親とのコミュニケーションがうまく取れなくなる子どもも増えているようです。いずれは帰国する彼らにとって両言語が話せることは大きな財産になるはずですから、少しでもその助けになればという思いで活動しています」

同法人の小林昭美、小幡由紀子両理事は語る。

日本の童話を収録したバイリンガル絵本を教材が不足する国内外の学校に提供

バイリンガル絵本『日本の童話』には、小学校低学年から中学生程度の児童を対象に、『おむすびコリン』や『ごんぎつね』、芥川龍之介『蜘蛛の糸』、宮沢賢治『注文の多い料理店』など、民話から児童文学まで7作品を収録し、それぞれ日本語と外国語の対訳で表記し、物語のイメージを喚起する挿絵を掲載している。日本語の表記は外国人にもわかりやすいように、文節ごとに区切る「分かち書き」にしており、平仮名ばかりの小学校低学年の国語の教科書で使われている表記法を参考にしたという。また、日本語と外国語の対訳を照らし合わせて読めるように文章に番号を付けるなど、バイリンガルの本ならではの工夫がなされている。

スペイン語版『日本の童話』は、日本語とスペイン語によ

るバイリンガルの朗読を収録したDVD付きで1,000部を制作し、全国の学校をはじめ母語保持教室、国際交流団体、図書館などに無償で配布するほか、読み聞かせなどの活動を行う予定で、これまで教材が不足していた学習現場での活用が期待される。さらに、外務省や大使館などに働きかけて現地の日本人学校へも配布先を広げていく考えだ。「2016年のリオオリンピック前の秋篠宮様ブラジルご訪問の際に、外務省を通してポルトガル語版を300部ほどお持ちいただき、現地の日本人学校に届けることができました。スペイン語版も同様に、ペルーなど現地の日系の子どもたちの日本語学習や日本文化の理解に役立ててもらえるように、配布ルートを探っていきたい」と小林さん。

本事業はスペイン語版の刊行をもって完結となるが、望ましい言語環境の実現と言葉の多様性を守るための支援活動を、今後も様々な形で行っていくという。



絵本の制作だけでなく、読み聞かせの活動も実施

助成団体: 特定非営利活動法人 地球ことば村・世界言語博物館 <http://www.chikyukotobamura.org>



スペイン語版を刊行することができ本事業は完結しました

ポルトガル語版に続いてこの活動に支援をいただけて、とても感謝しています。政府や企業では行き届かない分野はたくさんあり、そこに目を向け、支援の手を差し伸べるために我々NPO法人があるのだと思います。ささやかな取り組みではありますが、これからも言葉という大きな財産を守るための活動を続けていきます。

NPO法人 地球ことば村・世界言語博物館
理事 小林昭美さん(右) 理事 小幡由紀子さん(左)